

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和3年度事業点検・評価調査

5-Ⅱ-6

5-Ⅱ-6

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	地元特産品の販路拡大
節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	6 佐渡特産品の販路拡大	事業主体	佐渡市地域振興課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡市農業政策課、佐渡連合商工会
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡金銀山ブランドを活用した販売戦略により、高付加価値化を推進し、佐渡産品の販路拡大を図り、地場産業の振興を行う。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡金銀山PRと連携し、佐渡産品のブランド価値を高め、情報発信・展示・販売を積極的に行い、佐渡産品の販路拡大を図る。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産登録とともに、島内外の消費者が佐渡産農産物を買求めることができるよう、取扱販売店舗、ECサイトの利用のしやすさなどの体制整備が完了していること。 また、野菜、果樹等においては、持続的な生産体制の構築を完了する。 情報発信等については、店舗側、サイト側の自主性を促し、情報ソースの提供を行う。 		
これまでの取組実績	<p>サドメシラン認定店の認定店舗数拡大にあわせ、佐渡産食材の販路拡大を図り、令和3年度まで活動を展開してきた。 島外においては、各種イベント時にタイアップしながら、物販を行い、令和3年度からは、佐渡まるしえを活用し、島内外の消費者へアピール、販売している。 金山の坑道を活用した追熟・貯蔵により、金山ルレクチェとして高単価での販売を行うほか、金山みかんについても有利販売につなげるため、実証した。</p>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 引き続きルレクチェ、みかんの坑道貯蔵による付加価値化を行う。 ● サドメシラン認証店の認証店舗数拡大に合わせ、各種イベント時のタイアップや物販を行う <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和4年1月現在121店舗を認定している。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 絶対量の不足している他、金山貯蔵商品の取り扱い基準や認定基準の設定。 <p>コロナ禍での時短要請等、厳しい状況が続く飲食店に向けて、サドメシラン店舗としてのメリット創出等が必要となってくる。</p> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 関係機関において、貯蔵データを検証するとともに、商品化のルールや差別化の明確化などを検討する。 <p>金銀山イベント等に絡めたサドメシラン店舗とのタイアップを行っていく。</p>		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ コロナ禍ということもあり、思う通りの結果とはならなかったが、認定店舗数を伸ばすことができ、佐渡産品の販路拡大及び佐渡ファン獲得を進めることができた。 ルレクチェやみかんの行動貯蔵による付加価値化については、引き続き行っていくことが重要となってくる。</p> <p>[A・(B)・C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。